

## ■23 卒レビューア－調査

## 内定式・内定者施策に関する調査 &lt;内定式編&gt;

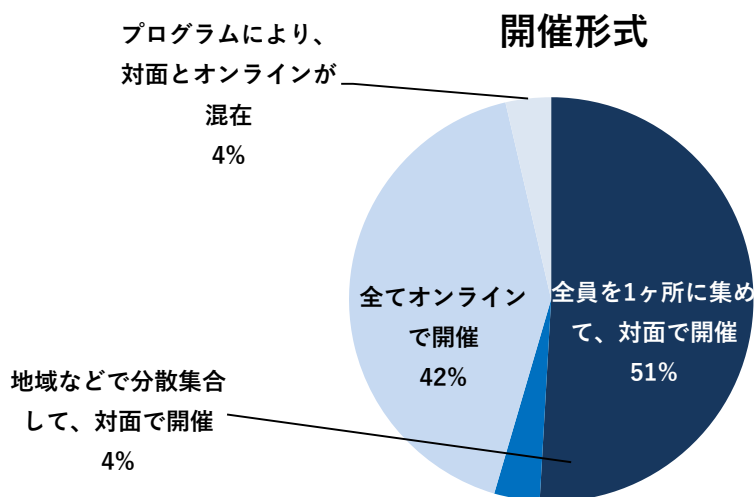
## &lt;調査概要&gt;

- ・調査対象：旧帝大・早慶クラスを中心とした上位校学生
- ・回答数：55件
- ・調査期間：9/30～10/11
- ・調査項目：
  1. 内定式の開催形式
  2. 内定式の所要時間
  3. 内定式当日のプログラム
  4. 対面形式の内定式での新型コロナウイルス感染防止対策
  5. 内定式の良かった点、改善点

## &lt;調査結果&gt;

## 調査結果(1) 内定式の開催形式

Q. 内定式の開催形式を教えてください



「全員を一か所に集めて対面で開催」51%、「地域などで分散集合して対面で開催」4%を併せ5割強が対面で開催された一方、「すべてオンラインで開催」は42%となっています。

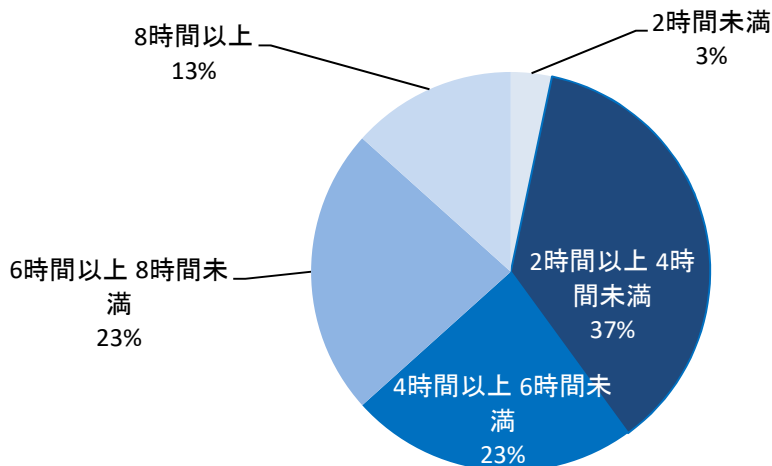
昨年の9割弱が「すべてオンラインで開催」の状況から一転、三菱商事や三井物産といった商社をはじめ、メガバンクなど主要企業で対面に戻す動きが見られました。

## 調査結果(2) 内定式の所要時間

Q. 内定式全体の所要時間を教えてください（懇親会などの時間を含む）

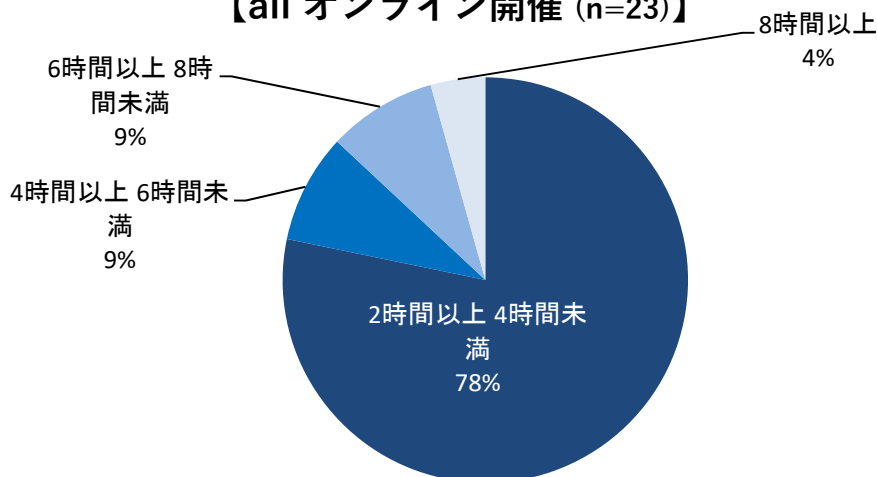
### 内定式の所要時間（懇親会含む）

#### 【all 対面開催 (n=30)】



### 内定式の所要時間（懇親会含む）

#### 【all オンライン開催 (n=23)】



開催形式が「すべて対面」「すべてオンライン」のいずれも「2 時間以上 4 時間未満」の割合が最も高い点と同じですが、全体傾向として対面開催のほうが長時間に及んだようです。

当日のプログラムを比較すると、種類の面では顕著な差は見られません。オンラインのほうが個々のプログラムが短時間だった、また、懇親会の会場への移動がなかったこと等の影響が考えられます。

## 調査結果(3) 内定式当日プログラム

---

### Q. 内定式当日のプログラムを、すべて教えてください（自由記述）

内定証書授与、人事部長や役員による講話、組織・制度や内定者研修についての説明、懇親会などがメインプログラムとなっており、例年と傾向は変わりません。

**特徴的なケース**としては、三菱商事の2日半かけて行う業務説明会、サントリーHDの地域別プログラムなどがあげられます。サントリーHDでは、首都圏組は価値共有ワーク、非首都圏組はサントリー美術館見学が行われました。

また、東急コミュニティーでは、役職者からの講話は無く、「一年目の社員からのメッセージ」を伝えたほか、事前に内定者サイトで募集した質問に対し統括部長等が回答する「インタビュー会」を実施しています。

ポーラでは、内定者自身が一部プログラムを企画・運営する建付けとなっており、当日は「堅苦しくない雰囲気だった点が良かった」との評価だった一方、事前準備は内定者間ですべてオンラインで行い負荷が高かったとの声があがりました。

## 調査結果(4) 対面形式の内定式での新型コロナウイルス感染防止対策

---

### Q. 新型コロナウイルス感染対策として、マスク着用や受付での検温・消毒以外にどのような対策がとられていたか教えてください（自由記述）

#### ▼開催前

- ・「一週間前から検温報告」（三菱商事）
- ・「事前にPCR検査での陰性証明を提出(検査キットが事前に会社から郵送)」（エスビー食品）

#### ▼開催当日

- ・「全員、抗原検査が必須」（楽天グループほか）
- ・受付時の検温・消毒とともに座席間隔をあけることが標準に

#### ▼懇親会の食事

- ・パーティションを設置したテーブルで「黙食」（三菱商事、東急不動産ほか）、「マスク会食」（三井物産、サントリーHDほか）
- ・「飲食なしの懇親会」（みずほフィナンシャルグループ、野村アセットマネジメントほか）
- ・「懇親会、飲食ともになし」（リクルートほか）

## 調査結果(5) 内定式の良かった点、改善点

Q. 内定式の良かった点と改善点を、それぞれ教えてください（自由記述）

### ▼良かった点

・最多は「内定者同士で交流ができた」ことで、これは例年と同じです。特に対面組は、コミュニケーションが取りやすかった点が満足度を高めた様子です。

オンライン組も、グループワークのテーマ設定などに工夫を凝らし、交流が促されたケースが見られます。

「対面形式のため内定者同士の親睦を深めることができた」（商社）

「対面開催であったため、コミュニケーションが取りやすかった」（金融）

「（オンラインでの）懇親会のテーブルにトークテーマが設定されており、好きなテーブルに座ることができたので、話が非常に弾んだ」（サービス）

「（オンラインでの）懇親会のグループワークの議題が楽しい内容だった」（サービス）

「（オンラインでの）懇親会は少人数で数回にわたって行われたので多くの人と話すことができた」（サービス）

・「こまめな休憩で集中力を保てた」との指摘も複数あがっています。こちらはオンライン組からの声が多かったです。

「オンラインで休憩が多くとられていたため、集中して話を聞くことができた」（メーカー）

「（オンラインで）1時間おきに休憩があった」（金融）

・オンライン組からは参加しやすさを指摘する声もありました。

「オンライン開催で地方の人も家から受けられたところが良かった」（金融）

「オンラインなので交通費がかからなかった」（サービス）

・対面組の中には、感染対策に関する評価も聞かれました。

「内定者だけでなく会社側の人も陰性を確認していたので安心して出席できた」（メーカー）

「内定者同士や社員とのコミュニケーションがきちんと取れるよう、過剰なまでのアクリル板やソーシャルディスタンスの指示などがなくて良かった」（サービス）

・高評価のプログラムとしては以下のようなものがあがっています。

「複雑な銀行口座開設手続きを全体で行っていただいたのが良かった」（メーカー）

「今後のスケジュール感に関する説明が詳しくて助かった。先輩社員との座談会のグループ分けが少人数かつローテーションで3回設けられたので、色々なことを聞くことができた」（サービス）

「事前に内定者サイトで募集した質問に対して、部長に答えていただける場があったことで、入社することに対する実感が湧いた」（サービス）

「自己紹介があったため、他の内定者の顔を覚えられた」（金融）

## ▼改善点

・良かった点の裏返しとして「内定者の交流がない／少ない」「休憩が少ない」ことを不満とする声が多く聞かれました。特にオンライン組からは仲を深めるのが難しいとの声もあがっています。

「オンライン実施のため、交流会で沈黙が多かった」（メーカー）

「オンラインのため内定者や企業の雰囲気をつかむのが難しかった」（サービス）

「(対面での懇親会で) 同じ採用コースの人や、近くの席の人など、特定の人としか交流できなかった」（金融）

「内定者同士の交流の機会が昼食時しかなかった」（サービス）

「(オンラインでの参加で) 休憩中も作業や資料の提出をすることが多く、十分に休憩をとる事が難しかった」（サービス）

「(オンラインでの参加で) 休憩時間が少なかったため、緊張もあったこともあり疲労度が凄かった」（メーカー）

・対面組からは、特定のプログラムの時間が長い、途中の移動時間が長いという不満の声も複数あがっています。

「内定証書授与の時間が長すぎる。人数がいるので仕方がないが、代表者だけでもいい気がした」（商社）

「説明が長く、全体的に間延びしていた」（サービス）

「間に空いてしまった時間が長く、もう少し全体時間を短縮できたと感じる」（サービス）

「会社の内定先からグループ合同内定式に移動する際の移動時間が長かった」（金融）

「式典会場から懇親会への移動が徒歩で大変だった」（メーカー）

・その他の不満としては、内容が既知のものだった等があげられています。

「パネルディスカッションの内容が知っていることも多かった」（サービス）

「正式に内定式を迎えた学生相手であるため、就活時には出せないような会社の情報を教えて欲しかった」（サービス）

「資料や手土産などいただいたもの入れた紙袋に大きく社名が書いてあり、公共交通機関で帰宅するのに持ちづらかった」（メーカー）